



# 同窓会だより

校訓  
けいしんあいち  
**敬心愛知**  
けんしりょっこう  
**堅志力行**

広島県立三原高等学校第71回卒業生を、同窓会新会員として迎えました。

## お祝いのことば

同窓会 会長  
戸野 法史 (23回生)



ご卒業を迎えられ、卒業生の皆様は、三原高校で過ごした3年という時間を振り返り、大きな喜びを感じておられることと思います。また、今日まで一心に成長を見守ってこられたご家族の皆様にはその喜びも一入のことと拝察しています。

同窓会を代表し、『ご卒業おめでとうございます』という饒の言葉を贈ります。また、卒業生の皆様を71回生として同窓会にお迎えできますことをとても嬉しく思っています。

さて、私が同窓会の会長に就いてほぼ1年が過ぎようとしています。「同窓会とはどのような会であるべきなのか?同窓会は何のために存在しているのか?」などと考えることが多くなりました。

高校在学中を振り返ると、校歌にあるような『理想に燃ゆる若人』であったかは甚だ疑問で、「強い意志を持ってもっと精進していたら」と悔やむ3年間でした。しかし、それはまた、多くの素晴らしい先生方と巡り会い、また多くの友人を得た貴重な時間でもありました。

さらに母校に赴任し教師として生徒と共に過ごした12年という年月は、様々な喜びと苦しみが交錯するもので

もありましたが、母校に対する愛着をより深く強いものとさせてくれた時間であったと思っています。

6年前に創立100周年記念事業実行委員会事務局長に就き、さらに昨年からは会長として同窓会の活動に携わるようになりましたが、『全ての同窓生は、それぞれが卒業年度は異なっても三原高校で過ごした3年という時間を同じように持っている』ことをご縁として、同窓会を組織しているのだと考えています。そのために、同窓生の皆様がいつでも母校の名のもとに集い相互の親睦を図ることができるように、さらに、母校である三原高校が将来も魅力ある高校として輝き続けるように、同窓会を運営しています。

卒業生の皆さんに、アメリカ合衆国第35代大統領 ジョン・F・ケネディの就任演説の一節を紹介します。

” Ask not what your country can do for you ;  
ask what you can do for your country.”

『国家があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国家のために何をなすことができるのかを問うて欲しい。』と邦訳されています。同窓生の皆さんには、「国家」を「同窓会」と置き換えていただければ、私が求めようとする「同窓生の皆さんと同窓会との関係」を理解していただけるのではないかと思っています。

近い将来、71回生の皆さんが純粋に母校愛を同窓会に注いでいただける時がくることを信じています。

## 卒業おめでとうございます

同窓会関西支部 支部長  
田中 道裕 (18回生)



皆様、この度は三原高校卒業、おめでとうございます。創立100周年記念の年の卒業生として、感激も一入のことと思います。今後は晴れて大人の仲間入りですね。進学するにせよ就職するにせよ親の庇護から離れる訳で、

今は開放感(期待)と不安が交錯する複雑な心境であろうと推察致します。元号が平成に変わった辺りから始まったITの進化/発展は、凄まじい勢いで産業、社会構造の変化をもたらし、価値観が多様化し各分野で格差を生み出しています。皆様にとっては多難な船出となるかも知れませんが、複眼でもって世の流れをうまく読み、研鑽を積んで豊かで明るい未来を切り開いてください。私の好きな以下の言葉をお贈りします。

《タフでなければ生きていけない。優しくなければ、  
生きている資格がない。》 (R.チャンドラー)



## 活躍する同窓生の皆さん(教育関係)

教育の分野で活躍する多くの同窓生をご紹介します。保育所・幼稚園から大学まで、同窓生の皆さんが活躍する領域は多岐にわたっていますが、今回は県立学校で活躍している多くの先生方の中から、5人の校長先生に卒業生の皆さんへの饞のことばをいただきました。

(写真) 左から 貞井俊哉さん  
陰迫紀世美さん  
石井道代さん  
吉村薫さん  
中原健次さん



石井道代さん(29回生) 広島県立高陽高等学校 校長

私は、令和2年3月末をもって定年退職。卒業する皆さんは、60歳の自分なんて、まだ想像できないと思いますし、どんな職業に就きたいのかさえ、今ははっきりしていない人もいるでしょう。でも、職業のみならず、どんな自分でありたいか、この機会に相当真剣に考え、そのことを記憶に残しておいてください。私は、教員になって生涯一教員として全うしようと考えていましたので、学校で3月31日を迎えることができることは、そうありたいと思ったとおりです。ただ、まさか校長で終わるとは当時の考えにはありません。でも、写真のように同世代の同窓生に校長仲間がいて、今の悩みも高校時代に考えていたことも気軽に話ができて、三原高生であったことを誇りに思っています。

陰迫紀世美さん(30回生) 広島県立沼隈特別支援学校 校長

三原高等学校卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。私は41年前の卒業生です。今は特別支援学校で働いています。50歳の時、10の倍数の歳になる学年は同窓会幹事学年だということを初めて知り、同窓会に出席しました。何十年ぶりに会ったのに、皆、面影があり、すぐに高校時代のように、いや、歳を重ねて凶々しくなった分、それ以上に話が弾みました。つい最近、軟式テニス部(女子)の同窓生で集まり、今の年代でのあれこれの悩みやこれからへの思いをわいわいと話し、とても元気になりました。同窓生との会話は昔と変わらない良さとその歳々での良さ2倍楽しめますよ。三原高等学校に感謝です。皆様も絆を大切に!

貞井俊哉さん(31回生) 広島県立戸手高等学校 校長

私の高校時代は40年あまり昔のこと。総合選抜の時代に運よく三原高校に入学したものの、部活動(アーチェリー)と学校行事がメインの日々で勉強は片手間という呑気な3年間を過ごしました。しかし、その後浪人して大学へ入学、臨探を経て高校教諭と回り道しながらも自分の夢を実現できたのは、三原高校の3年間で自己実現の基礎力を身に付けさせてもらえたお蔭だと感謝しています。

生徒としての3年間に加え、教諭として10年間を母校で過ごしたことで、生徒でもある後輩たちと喜怒哀楽をともにでき、改めて幸せを感じています。

卒業生の皆さん、三原高校は素晴らしい学校です。100年の伝統が応援しています。これからも理想に燃え、自ら信じる道を力強く進んでいってください。

中原健次さん(33回生) 広島県立大崎海星高等学校 校長

ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私は生徒として3年、卒業して32年後に教頭として3年の通算6年を三原高校で過ごす縁をいただきました。私が生徒で過ごしたときと教頭として過ごしたときの大きな違いは何といっても少子化です。1学年7クラス規模が5クラス規模になっており、1クラスの定員も40名と減りました。皆さんそれぞれがどう思うかは別として、一人一人に対する社会からの期待は、私の世代よりも今の皆さんに対する方がかなり大きいわけです。言い換えれば、大きく飛躍できるチャンスが何倍もあるわけです。重要なのは「新たな発想」と「意欲」、これに尽きると思います。100年の長きにわたって歴史を築いてきた三原高校、大きな可能性がある皆さんとともにその歴史に加わることができたことを誇りに思います。



吉村薫さん（35回生） 広島県立尾道東高等学校 校長

40年近く遡ってみると色々な風景が蘇ります。廊下から筆影山を仰ぎ、JR呉線を走る列車の音に耳を傾ける、グラウンドに面した土手には自転車止め野球部の練習を眺める地域の人たちがいる、何気ない風景の中にも語りつくせない思い出が詰まっていることを改めて実感します。人生100年と言われる時代において、AIと共存していく人間は、技術革新に対応する資質・能力とともに、人として相手を思いやり必要な時には手を差し伸べる行動力が求められます。三原高校で鍛えられた精神と培われた愛情をもって、持続可能な社会を構築するために自分は何ができるのか問い続けてください。

“WHO will make it happen?” – “I will!”

## 関西支部から

田中支部長から、関西支部設立の経緯をご紹介します。

今から4年前の2016年（H28年）夏あたりから有志数人が集まり、関西に他校と同様に同窓会関西支部を作ろうと活動を始めました。母校（当時 三次校長）、同窓会本部（同 平田会長）の全面的なご理解とご支援の下、2017年（H29年）4月23日に会員数45名で設立総会を開催するに至りました。その後、毎年5月には定期総会、年末には忘年・懇親会を開催し、その間にカーブの応援観戦、ハイキング等も企画して、会員間の交流を深めています。

2018年（H30年）7月の西日本豪雨で大きな被害に遭われた我が故郷三原市に対するお見舞金募金を呼びかけた処、わずか2週間余りで多くの会員から総額で52.5万円というお金が集まりました。故郷を想う気持ちが会員の間で共有出来た賜物です。早速三原市役所で天満市長にお渡しし、ご丁寧なお礼の言葉を頂戴しました。

2018年11月には懸案であった会報「やっさ便り」を創刊し、今年1月に第3号を発行しました。関西支部の全会員に郵送し、会員間の情報共有のツールとして定着してきています。

現在、会員数は112名（最年長/S34年卒、最年少/H17年卒、男女比率は約60/40%）です。

第71回卒業生の皆様も、就職あるいは進学で関西（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）で落ち着かれましたら、是非とも以下の処にご連絡ください。何かお役に立ちたいと、当支部会員全員がお待ちしています。

【三原高校同窓会関西支部事務局】 〒662-0973 西宮市田中町3-1-2604 （田中、自宅）  
 支部長 田中道裕（S42卒） 携帯：090-7762-3733 メール：tanaka-m@mx5.canvas.ne.jp  
 幹事長 平川 修（S51卒） 携帯：080-1481-1645 メール：osamu.asahikawa@gmail.com



（写真） カーブ観戦



（写真） 三原市長室にて



## 行事予定

令和2年に予定している同窓会の関連行事を紹介します。会員の皆様のご出席をお願いします。

広島県立三原高等学校創立100周年関連事業

### 『三原高等学校器楽部 第40回 定期演奏会』

日時 令和2年3月29日(日) 開場 15時30分 開演 16時  
会場 三原市芸術文化センター ポポロ ホール

### 『三原高等学校同窓会 令和2年度 総会・懇親会』

日時 令和2年8月13日(木)  
会場 三原国際ホテル  
○総会 16時30分～ 6階 『アニバーサリー』  
○懇親会 17時30分～19時 6階 『エターナリー』  
懇親会会費 5000円  
※今年度の当番幹事は末尾に9のつく、19・29・39・49・59回生が担当します。

### 『広島県立三原高等学校創立100周年記念式典』

日時 令和2年11月15日(日)  
会場 三原市芸術文化センター ポポロ ホール  
○式典 10時～  
○記念講演 11時～12時  
講演者 広島銀行代表取締役会長 池田晃治さん(23回生)  
○祝賀会 13時30分～15時30分  
会場 三原国際ホテル 6階 『エターナリー』

同窓会ホームページから、次のような情報を発信中です。

- ・同窓会だより
- ・創立100周年記念事業について(募金趣意書)
- ・創立100周年記念事業に向けた活動報告
- ・三原高校風景

なお、同窓会ホームページのURLは次のとおりです。(右上のQRコードも可)

<https://mihara-h-dosokai.sakura.ne.jp/home/>

また、上記URLでのホームページ参照以外に、LINE@による定期的な情報発信もしています。@485ektbgで友達検索してみてください。(右下のQRコードも可)

